

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52107	教育制度論 Theory of Public Education System	浜 えりか			2	必修	2年前期
科目の概要							
日本国憲法に規定する国民の教育を受ける権利を保障するために成立した教育法とそれに基づく教育制度を具体的なことから即して学ぶ（ディプロマ・ポリシー③）。授業の前半では、学校体験を振り返りながら、「子どもの権利」の視点から日本の教育法のしくみと教育制度に関する知識・情報を獲得する。授業の後半では、最近のニュース（不登校児童の増加、教師の多忙化の現状、こども家庭庁の設置など）に触れながら、学校教育の課題に対する解決策を考える（①～④、⑥）。							
学修内容				到達目標			
① 具体的な事例に即して教育制度の理念を学ぶ。 ② 教育制度が成立した歴史的意義について学ぶ。 ③ 教育制度に着目して学校教育の課題を考える。 ④ 教育実践と教育制度の相互関係について考える。				① 日本の教育制度の理念を説明することができる（ディプロマ・ポリシー②③）。 ② 戦後教育改革の意義と課題を説明することができる（ディプロマ・ポリシー①③）。 ③ 教育制度に着目して学校教育の課題を述べるすることができる（ディプロマ・ポリシー③④）。 ④ より良い教育実践につながる教育制度を考案することができる（ディプロマ・ポリシー③⑥）。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自分の関心を知り、授業にのぞむ。					
	働きかけ力						
	実行力	授業の内容を整理する。					
考え抜く力	課題発見力	講義内容をもとに、問題を認識できる。					
	計画力						
	創造力	自分の意見を持つ。 授業の内容をもとに、課題に対する解決策を考える。					
チームで働く力	発信力	自分の考えを言葉にまとめ、整理する。 相手に伝わるように丁寧に説明する。					
	傾聴力	グループ討議では、他の学生の意見をしっかりと聞く。 自分が分からなかった点については丁寧に聞き返す。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし 参考文献：①川口洋誉・古里貴士・中山弘之編著『未来を創る教育制度論【新版】』北樹出版、2020年。②勝野正章・庄井良信『問いからはじめる教育学』有斐閣、2022年。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：教育原理、日本国憲法 資格との関連：幼稚園教諭二種、保育士							
学修上の助言				受講生とのルール			
難しい法制度の学習でも、具体的な事例に即して考えることでわかることもあるので、あきらめないで復習すること。				授業は集中して聞き、疑問がある場合は積極的に質問すること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	90	①	✓			筆記試験は穴埋め式および課題解決型の記述式問題によって行う。 ①②は資料を読み取り、まとめることができるか。講義を聞いて、理解することができるか。 ③④は理解した内容をもとに課題を正しく認識できるか、自分の意見を論理的に記述することができるか。	
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
	学修成果	平常評価	小テスト	0	①				
					②				
					③				
					④				
平常評価		レポート	0	①					
				②					
				③					
				④					
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①						
			②						
			③						
			④						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			(主体性) 自分の関心を見つけられるか。 (実行力) リアクションペーパーに自分の理解をまとめられているか。 (課題発見力) 学習内容と現実の課題を結びつけることができているか。 (想像力) 現実の課題に対して自らの考えをまとめることができるか。 (発信力) 自分の意見を言葉にすることができるか。 (傾聴力) 他の学生の意見を理解することができるか。 (規律性) 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
総合評価割合		100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達レベルS(秀)：優(A)の到達レベルに加え、社会人基礎力を習得できている。 到達レベルA(優)：戦前と戦後の教育理念の違い、国民の「教育を受ける権利」を保障するための基本的な制度体系を理解し、学校教育の現代的課題に対する自分の考えを論理的に述べるができる。	到達レベルB(良)：到達レベルAには達しないものの、教育制度に関する基礎的な専門知識・用語を理解し、学校教育の現代的課題に対して自分の考えをもつことができる。 到達レベルC(可)：教育制度に関する基礎的な専門知識・用語を理解している。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ガイダンス（講義のねらいと概要） 教育制度を学ぶことの意味 ～学校体験を振り返ってみよう～	講義 PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	講義のねらいと内容等について理解できる。 教育制度の意義と形成過程を理解できる。	（予習）シラバスを読み、講義のねらいと内容を理解する。自らの学校体験を振り返り、その意義を考える。 （復習）教育制度を学ぶことの意味をまとめる。	90	主体性 実行力 規律性
2	子どもの権利 ～「子ども」について考えてみよう～	講義 PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	子どもの権利条約の重要な点が理解できる。	（予習）「子ども」の定義について調べ、自分の考えをまとめる。 （復習）子どもの権利条約の特徴をまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
3	教育法のしくみ ～教育制度の法律主義と不文法～	講義 PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	教育法の体系と基礎用語が理解できる。	（予習）教育に関する法には何があるか調べる。 （復習）法に関する基礎用語と教育法の体系を暗記する。	180	主体性 実行力 規律性
4	教育内容の制度 ～教育課程を編成するのはだれ？～	講義 PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	教育課程の内容と法的根拠について知る。	（予習）学習指導要領に規定されている内容を調べる。 （復習）教育課程を編成する仕組みをまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
5	公教育の原理（1） ～日本国憲法と教育基本法～	講義 PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	戦前と戦後の教育理念の違いについて知る。	（予習）戦前の教育の特徴を調べる。 （復習）戦前と戦後の教育理念の違いをまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
6	公教育の原理（2） ～教育の目的と目標～	講義 PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	教育基本法における教育の目的・目標規定のポイントを理解できる。	（予習）教育基本法に規定される教育の目的・目標を調べる。 （復習）教育基本法、学校教育法の重要箇所を暗記する。	180	主体性 実行力 規律性
7	義務教育の制度 ～義務教育の「義務」ってどういうこと？～	講義 PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	権利と義務の関係および義務教育制度の基礎を理解できる。	（予習）憲法26条と教育基本法5条の規定を調べる。 （復習）義務教育における権利・義務関係を整理する。	180	主体性 実行力 規律性
8	学校の制度 ～「法律に定める学校」には何がある？～	講義 PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	日本の学校体系および不登校児童・生徒への対応などの現代的課題について理解できる。	（予習）いじめ・不登校に関するニュースを調べておく。 （復習）一条校の抱える問題に対する自分の考えをまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	教育の機会均等 ～教育機会の保障と「子どもの貧困」～	講義・グループ討議 PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	教育の機会均等の理念および「子どもの貧困」の問題について知る。	(予習) 「子どもの貧困」に関するニュースを調べておく。 (復習) 教育の機会均等の実現に向けた課題をまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	教職員の制度 ～教育の自由とその制約～	講義・グループ討議 PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	教職員の専門性および地位を担保する制度理念を理解する。	(予習) 教員という職業の特性について、自分の考えをまとめる。 (復習) 教員の専門性を担保する制度についてまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	学校運営のしくみ (1) ～地域とのつながりと連携～	講義・演習 PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	学校の現状について知り、「開かれた学校づくり」の意義を理解する。	(予習) 学校と関係する公的機関を調べておく。 (復習) プリントを再読し、具体的な事例への対応を考える。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	学校運営のしくみ (2) ～こんなときどうする?安全管理と事故対応～ (グループワーク)	講義・演習 PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	学校安全に関する事例を知り、対応方法について理解する。	(予習) 自らの経験やニュースから、学校事故の事例を調べておく。 (復習) プリントを再読し、具体的な事例への対応を考える。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	保育の制度 ～幼稚園・保育所と保育制度改革～	講義 PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	保育制度改革の概要について知る。	(予習) 待機児童に関するニュースを調べておく。 (復習) 保育制度改革の背景と内容をまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	教育行政の制度 ～教育委員会ってどんな組織?～	オンデマンド PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	教育委員会制度の理念と国と地方の関係について知る。	(予習) 出身地域の教育方針と学校の組織体制についてまとめる。 (復習) 教育委員会制度の理念と課題をまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
15	これまでの講義のまとめ	講義 PC等を使ってリアクションペーパーに記入する。 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	教育制度を学ぶことの意義を理解する。	(復習) 筆記試験に向けて、専門用語を暗記するとともに、教育制度の現代的課題に対する自分の考えをまとめる。	270	主体性 実行力 課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力